

三回の育休



私は現在、急性期病院の MSW として「責任者」という立場で従事しています。新卒でイムスグループに入職し、これまでに育休を 3 回取得しました。

1 回目は、社会人 3 年目の夏に 2 カ月間。2 回目は、4 年目の冬に 2 カ月間。そして 3 回目は、8 年目の夏と冬に 1 カ月ずつ計 2 カ月間取らせていただきました。

1 回目と 2 回目は責任者という立場ではなかったため、当時の責任者へ相談しました。その際、育休を取得することに対して否定的な反応は一切なく、むしろ育休取得に向けた準備を後押しいただき、心身ともに助けていただいたことを覚えています。

3 回目は責任者という立場もあり、以前のように育休を取得することは難しいのではないかと考えていました。しかし、病院長や事務長、部門代表をはじめ、現場スタッフやグループ内の各責任者の方々からサポートいただき、計 2 カ月間の育休を取得することが出来ました。

イムスグループは
育休が取りやすい！



My Story

「
男性育休
100
%
」

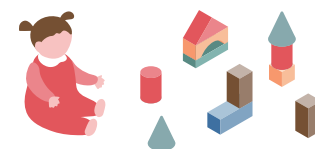
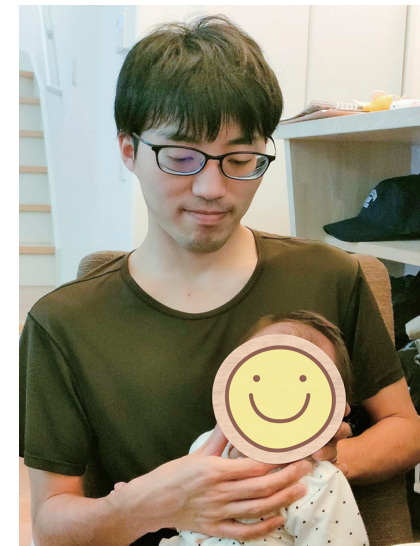
花岡 英知
イムス記念病院



育児に没頭

育休中はまさしく『育児に没頭』していました。新生児にとっては朝や夜などのリズムは関係ないので、日中は活動して夜は就寝という基本ルーティンは崩れさり、妻と交代でミルクやオムツ交換などを協力して行っていました。

3 回目の育休においては、保育園に通う子供もいたため、朝の登園が 1 日の始まり。せわしない日々の中、むしろ仕事をしていた方が楽なのではないか、と思うことも多々ありました。



働きやすい環境



男性の育児参加が促進される時代になってはきましたが、国内の男性育休取得率は 40%（2024 年度統計）に留まるそうです。対して当グループ SW 部門の男性育休取得率 100%というのは、ライフイベントに併せて働きやすい環境があり、時代に沿った企業であることがわかる指標となっています。実際、自分のような当事者としても取得のしやすさがあります。

グループとしての強みは、こういう時にも相談先や頼り先が多数あることだと思います。皆さんもワークライフバランスが充実しているイムスグループで、一緒にソーシャルワークを実践しませんか。